

# 鉄道ピクトリアル

1970年 6月号 Vol. 20 No. 6

■表紙 「クモハ591形」……………川崎重工 提供

■カラー頁 「京葉臨海鉄道」……………編集部 撮影

## ■グラフ

リニアモータ富士山試験……………国有鉄道…11

京葉臨海鉄道……………国有鉄道・編集部…12

神奈川・名古屋臨海鉄道……………国有鉄道・白井良和・後藤昭光…14

開業せまる鹿島線……………日本鉄道建設公団…16

横浜市営高速鉄道……………横浜市交通局…18

<第14回鉄道写真コンクール入賞作品>

トンネルのむこうの初夏……………神川 義尊…43

町屋界隈・雨の日比谷……………粕谷慎一・石田敬…44

特急交換……………粕谷 慎一…45

雪国の夕暮れ……………玉木 正行…46

たなびく煙・キャブ……………釜野限一・小出秀友…47

鉄道フォトギャラリー 足尾線行……………伊藤 昌慶…48

春近し(2頁大・解説77頁)……………山川 順也…50

4市電廃止(東京・名古屋・京都・神戸)……………

角田秀紀・白井良和・岸幸男・藤井信夫・堀部万里・神戸市交通局…52

長野運転所……………村本 哲夫…54

土佐電気鉄道軌道線……………東俊一郎・小林潤一・合川徹郎・土佐電鉄…56

日光ケーブル廃止……………小林茂・花上嘉成・東武鉄道…58

トピックフォト

(北海道・東北・関東・中部・関西・四国・九州だより)……………83

## ■本文

今月の話題・第2次東海道新幹線構想発表……………編集部…3

施設及び運転面からみた 臨海鉄道の概要〔前〕……………村野 文男…4

臨海・臨港鉄道の系譜とその性格……………青木 栄一…19

リニアモータ方式によるヤードの自動化について……………村戸 健一…23

新幹線試験電車この1年……………笠井 浩三…25

国鉄の列車自動運転について……………本村 忠之…28

書評◎「私鉄電車プロフィール」……………和久田康雄…30

鹿島線の建設について……………須藤 薫…31

工事進捗する横浜市営地下鉄……………村岡健一郎・石川牧男…35

私鉄高速電車発達史〔23〕……………中川 浩一…39

機関士の1人乗務について……………芹沢 邦夫…59

クモヤ440形交直流けん引車……………安達 信夫…62

運転所を訪ねて〔12〕「長野運転所」……………村本 哲夫…64

名鉄知多新線の建設……………名古屋鉄道…67

私鉄車両めぐり〔82〕「土佐電気鉄道軌道線」……………東京大学鉄道研究会…69

鉄道の話題……………77

質問に答える……………78

車両の動き……………81

4月のメモ帳……………82

読者短信……………91

T T Kだより・後部車から……………94



## 第2 東海道新幹線構想発表

国際鉄道連合会(UIC)主催の「世界鉄道首脳者会議」が4月13日から5日間、東京プリンスホテルを主会場として開かれたが、冒頭の開会式のあいさつで、磯崎国鉄総裁は「1980年ごろには東海道新幹線の輸送能力は限度に達すると予想される。そのころまでに東京―大阪間にもう一つの新幹線を建設したい。それは在来方式によらない超高速の新しい陸上機関にする」と述べ、国鉄が開発を進めている世界でも最先端をいく超伝導磁気浮上、リニアモータ方式による超高速第2東海道新幹線の構想を明らかにした。これまでも東海道第2新幹線の必要性は力説されていたが建設の時期や採用の鉄道を新方式のものにする意向が国鉄側から公式に明らかにされたのは初めてで、もちろん世界鉄道首脳者会議の冒頭演説という演出効果のねらいもあった。

説明によると、これから2年間で経済的な価値、技術的可能性などをつめて一応の結論を出し、あとは国家的事業として取上げてもらう。その後3~4年で計画を決定し、5年間ぐらいかけて建設する。列車の最高速度は「ひかり」の2倍以上時速500キロを目ざすというもの。

国鉄技術陣の試案によると、第2東海道新幹線は東京―名古屋―大阪を直線的に結び、全長約440km、うちトンネル部分が40%(現在は13%)、トンネルでない部分もプラスチックのトンネル型カバーで被い、いわゆる全天候型とする。また最新のサイバネティクスを応用し、全線完全自動システムを採用する。

〔表紙〕「クモハ591形」

川崎重工提供

クモハ591 Mc<sub>1</sub>-M<sub>2</sub>-Mc<sub>3</sub> '70.3

リンホフテクニカ 4×5 アポランザー-F4.5  
絞り8 タイム1/60 エクタクローム

〔カラー頁〕「京葉臨海鉄道」

編集部撮影

京葉村田操車場 '70.3.15

マミヤC220絞り11タイム1/125 エクタクローム

TETSUDOTOSHO KANKOKAI  
New Kokusai Bldg, Marunouchi  
3-4-1, Chiyodaku, Tokyo/Japan